

# 地区社協 & トモニー



地区社協と共に

平成22年8月発行(賞見期限:3ヶ月)

“地区社協&トモニー”は、地区社協へ向けて区社協が発信する、不定期のトピックス! トモニーの名前の由来のように、『共に』歩み、『共に』福祉を進めていきたいと願って…。

編集:南区社協 TEL260-2510

H22~24年度  
推進地区社協

## 永田みなみ台地区社協

特集号

永田みなみ台地区は平成22年度~3年間、推進地区社協に指定されました。推進地区社協には南区社協・地域ケア施設・南区役所と一緒に次のお手伝いをさせていただきます。

- (1) 第2期地区別計画の目標達成のために必要な組織体制づくり、仕組みづくり
- (2) 計画に沿った事業展開への企画協力

さて、この取組がどのように展開しているのか、ちょっとのぞいてみましょう♪



### 地区社協ってなあに?

#### 組織体制づくり①

推進地区社協1年目である今年は、地区社協活動が目指すものについて、役員全員で共通認識を持つために、6月21日に**役員研修会**を開きました。

テーマは「地区社協ってなあに?」。講師は南区社協の門倉事務局長が務めました。

地区社協活動をしている人でもイマイチ漠然としていて言葉でうまく説明できないのが「地区社協」…。

地区社協が生まれた歴史的背景から、何を目的としてどのような組織体制で活動を進めるとうまくいくのか? など様々な素朴な疑問を解決するための研修会となりました。



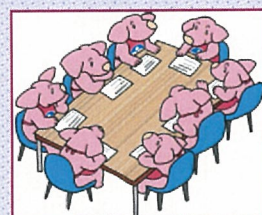
熱心に画面を見つめる皆さん

#### 組織体制づくり②

### 広報委員会誕生!

「自分たちの言葉で、地区社協活動について地域住民に知らせたい!  
そして、賛同してくれる仲間を増やしたい!」

そんな想いで永田みなみ台地区社協に広報委員会が誕生しました。来年2月の創刊を目指して、9月9日に南区社協が開催する『広報紙のつくり方講座』を受講する予定です。どんな広報紙が出来上がるのか、乞うご期待! !



# ★認知症になっても 安心して暮せる街をめざして…

## 計画に沿った事業展開

平成22年度からスタートした第2期南区地域福祉保健計画の地区別計画。  
永田みなみ台地区社協では5つのテーマを設定しました。  
今年度はその内の1つ、認知症になっても安心して暮せる街をめざして、地域での見守り体制づくりに重点を置き、様々な取組を始めています。

### ★きっかけは民生委員の活動から…

永田みなみ台地区社協の事務局長の佐藤明美さんは民生委員としても活動しています。  
ここ数年、地域の認知症の高齢者が徘徊して道に迷ったところを保護されたり、カギをなくして家に入れなくなったり、ポストの開け方がわからず、何度も相談しに来たりというケースが多くなってきました。  
認知症の症状から生活に支障をきたし、困っている方がいた時に、「民生委員だけでなく多くの地域住民がその方のサポートをしてあげられたら、どんなにいいだろう！」そんな思いから地区社協の取組みがスタートしました。

### ★まずは認知症を知ろう！

さて、サポートすると言っても、認知症がどんな病気なのかを知らなければ、サポートのしようがありません。  
そこで、永田地域包括支援センターや区役所、区社協と相談しながら「認知症サポーター養成講座」を開催し、地域住民に認知症について正しく理解してもらう機会を設けました。  
この講座を受けた方には、地域で認知症の方を見かけた際のさりげない見守りをお願いしました。



認知症サポーター養成講座

### ★徘徊される高齢者を地域で見守ろう！



あんしんオレンジシール

左の写真のシールは「あんしんオレンジシール」と言います。  
永田みなみ台地区の高齢者に配布するために作成しました。  
オレンジのシールは靴のかかとやいつも持ち歩くバック、杖などに貼ります。蛍光色なので夜間も安心です。  
白いシールは氏名や連絡先を記入して、靴の内側やバックの内側などに貼ります。  
自分の持ち物が探しやすくなるとともに、認知症の方にとっては道に迷って帰れなくなった時などに、すぐに身元がわかるようになります。このシールの普及によって、高齢者を地域で見守り、何かあった時に身元がわかることで対応がしやすくなります。

### ★対象者を特定しない見守りと特定した見守りと…

認知症を正しく理解した人を増やす「認知症サポーター養成講座」と、「あんしんオレンジシール」の普及によって、地域住民による対象者を特定しない「ゆるやかな見守り」体制づくりを進めます。

一方で、対象者を特定した見守り体制も整える必要があります。

そこで、永田みなみ台エリアを対象としている介護保険事業所などに地区社協の取組を知ってもらい、認知症の方にあんしんオレンジシールを活用してもらうよう依頼する予定にしています。また、認知症サポーター養成講座を受けて、地域の取組に協力を申し出てくださった方々と一緒に、認知症の方やその家族を支える取組を展開していきたいと考えています。